

## 学校関係者評価報告書（令和5年度）

令和5年度の学校関係者評価委員会を開催し、自己評価結果および発表内容をもとに、学校関係者による評価を以下のとおり実施した。

評価実施日：令和5年10月18日（水）

学校関係者評価委員：

関係企業委員2名、有識者委員2名、卒業生委員1名（計5名）

評価	評価に係る提言・改善等
<p>(1)教育理念・目標</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・KCS4校で協力した新しい取り組みを開始している。東京ゲームショウ2023に出展し、職員と学生スタッフで来場者対応をおこなうことで、大きな刺激を受けることができた。</li><li>・授業の平準化を目的として講師が作成した授業コンテンツをチームティーチング方式で活用している。この方式をKCS4校にも拡大していく。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・東京ゲームショウという世界的イベントへの取り組みは、学生にとっても力を伸ばす大きな機会であり、評価できる。</li><li>・学生の理解度を深めるため、新しい授業方式に取り組んでおり評価できる。</li></ul>
<p>(2)学校運営</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・スマホやタブレットで利用可能な学園共通の就職情報システムを導入した。「姉妹校求人が利用できる」「保護者が最新の求人情報を閲覧できる」など、きめ細かい情報提供の環境を整備できた。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・学生が社会に出た際にギャップを感じないように、企業インターンシップ参加など、早期から企業で働くことを知る機会を、さらに増やしてもらいたい。</li></ul>

<p>(3)教育活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AI を利活用できる人材のニーズが高まっており、実習の一つとして、AI カーを利用した自動走行プログラム作成を開始した。</li> <li>・生成 AI については、学園で今年 10 月にガイドラインを策定、積極的に授業に取り組んでいく方針である。</li> <li>・対面での系列ソフトウェア企業の SE による特別授業を再開した。コロナ禍の際に企業で導入したバーチャルオフィスを、学生にも体験させている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「iCD GOLD」のような客観的視点で、高い評価を受けていることは評価できる。</li> <li>・システム開発の特別授業で「要件定義」を実習させていることに驚いた。企業に入社した際に、システム開発の全工程を学んでいると、業務の流れがスムーズになる。今後も、同様の教育を継続してもらいたい。</li> </ul>
<p>(4)学修成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チームティーチング方式で制作した授業コンテンツは VOD(ビデオ・オン・デマンド)方式で自宅でも視聴できる。自宅での授業を復習する学生も増えており、全体の成績が上向いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅で学びたいという意欲のある学生に対して、自宅で視聴できる授業コンテンツの提供や、e-Learning などの整備が進められており、評価できる。</li> </ul>
<p>(5)学生支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 6 年 4 月に「高等教育の修学支援新制度」が拡充される。条件の一つに理工系学部の学生が設置されるが、本校は全学科が理工系として認められる。</li> <li>・同窓会の皆さまのおかげで活動が再開される。卒業生支援の強化にも結び付けたい。</li> </ul>	
<p>(6)教育環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休み期間に、4 階フロアと教室の床張り替え工事、4 階男女トイレの改修工事を実施した。</li> <li>・本館校舎の外壁および屋上の防水塗装工事を年度内に完了する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内の生活環境が整備されており、学生の学習意欲向上に結び付いている。</li> </ul>

<p>(7)学生の受入れ募集</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学は、総合型選抜・学校推薦型選抜という入学方法が導入され、高校での学びや活動が選考の重要な要素となった。本校も、学科・専攻のミスマッチを防ぐため、入学選考で面接試験を実施し、本人の意思を直接確認するようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校でも、コロナ禍で欠席が増えた、体調がすぐれないなどの問題を抱えた生徒が増えている。入学選考時に、面接で本人の意思を確認することでミスマッチを減らす努力は、評価できる。</li> </ul>
<p>(8)財務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的によく取り組んでおり、特に改善項目はない。</li> </ul>	
<p>(9)法令等の遵守</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「倫理に基づく Quality First」のグループ理念が実現されている。</li> </ul>	
<p>(10)社会貢献・地域貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校周辺のごみ拾いなどのボランティア活動を再開している。</li> <li>・高校での IT 実習補助や、小中学生向けの IT・AI 体験なども再開している。IT 人材の裾野を広げるために、さらに拡大していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AI 時代を迎え、IT 技術は社会人が持つべきスキルの一つとなった。在校生だけでなく、地域や小中学校にも KCS の教育力で貢献してもらいたい。</li> </ul>

以上